

おだわら市民学校 公開講座

入場
無料

～「おだわら市民学校」が目指す“人づくり”、“まちづくり”
について有識者や実践者からお話を聞きます～

日時 令和元年7月27日（土）14:00～16:00（13:30開場）

会場 小田原市生涯学習センターけやきホール
（小田原市荻窪300番地）

第1部：基調講演 14:00～15:00

【演題】

市民がともに学び、分かち合い、創るまち



講師：神野 直彦氏

（おだわら市民学校名誉校長・日本社会事業大学学長・東京大学名誉教授）

1946年埼玉県生まれ。

東京大学経済学部卒業後、日産自動車を経て同大学院経済学研究科博士課程修了。大阪市立大学助教授、東京大学教授、同大学院経済学研究科長・経済学部長、関西学院大学教授、地方財政審議会会長などを経て、日本社会事業大学学長、東京大学名誉教授
専攻は財政学・地方財政論

第2部：パネルディスカッション 15:10～16:00

既に担い手として活躍している実践者の方々から、活動の魅力や課題を伺い、これから小田原が目指すべき“人づくり”、“まちづくり”について考えます。

コーディネート：加藤 憲一（おだわら市民学校校長、小田原市長）
アドバイザー：神野 直彦氏（おだわら市民学校名誉校長、日本社会事業大学学長）
パネリスト：小澤 明人氏（農業者、元JAかながわ西湘青壮年部委員長）
酒井 勇紀氏（神奈川県西地区リハビリテーション連絡協議会会長）
志村 成則氏（おだわら環境志民ネットワーク理事）
立山 和也氏（富水地区まちづくり委員会 文化・教育分科会副分科会長）
山本 加世氏（特定非営利活動法人mama's hug代表）

【申込方法】

開催日前日（7月26日）までに、電話・電子申請で下記までお申込ください

電話：生涯学習センターけやき ☎0465-33-1882

電子申請：小田原市ホームページにある「電子申請システム」メニューから

※定員に空きがある場合に限り、当日参加も可能です

【対象】

どなたでも・先着200人



おだわら市民学校
Odawara Citizen School

《電子申請用QRコード》



お問い合わせ

小田原市 生涯学習センターけやき TEL.0465-33-1882

おだわら市民学校とは

地域の今と未来のため、そして「持続可能な地域社会」の実現のためには、さまざまな世代や立場の皆が郷土を愛し、手を携えチカラを発揮して課題を乗り越えていくことが求められます。

「おだわら市民学校」は、皆で集い、ともに学び、実践へ繋げる「人のチカラ」を育む”新たな学びの場”

基礎課程では「郷土愛」を専門課程では「実践に繋げる課題解決を担いうるチカラ」を育みます。

1年目 基礎課程

小田原の魅力を知り、郷土愛を育む「おだわら学講座」

「サポートの必要な人を支える」「子どもを見守り育てる」「自然を守り育てる」など、さまざまな分野にみなさんのチカラを活かせる活動の場があります。

カリキュラムにはあふれる小田原の魅力を盛り込み、座学や体験を織り交ぜた学びから、改めて郷土小田原を知り、見つめ直します。

2年目 専門課程

学びを深め、実践に繋げる「8つの専門課程」

入校2年目は、基礎課程で学んだ知識を深め実践へ繋がります。

基礎課程で学んださまざまな分野の中から、担い手として進む自分の選択した分野について一層の理解を深めます。

担い手の皆さんの実践に触れながら、課題解決を担いうるチカラを育む講座です。

8つの専門分野

- | | |
|----------------|---------------|
| ①サポートの必要な人を支える | ②子どもを見守り育てる |
| ③自然を守り育てる | ④地域の文化力を高める |
| ⑤地域を元気にする | ⑥郷土の魅力を知り伝える |
| ⑦地域の生産力を高める | ⑧二宮尊徳の教えを継承する |

次期入校生の募集は、令和2年4月を予定しています

会場案内図

小田原市生涯学習センターけやきホール(2階)(小田原市荻窪300番地)



○徒歩 JR小田原駅西口から約15分

○バス ①②とも、市役所前下車徒歩約1分

①JR小田原駅東口2番のりば
(所要時間約8分)

②JR小田原駅西口2番のりば 久野車庫・
 兔河原循環方面(所要時間約4分)

※駐車台数に限りがございますので、
ご来場の際はなるべく公共交通機関を
ご利用ください。